

2025年 粳水分の状況

高温の影響により、例年より出穂が早まっています。気象庁は今後も高温になると予報しており、登熟は早く進み、収穫期の前進が予想されます。高温時には玄米の成熟よりも帯緑色粳の減少が遅れることがあるため、刈り遅れないよう粳水分を確認し、25%になったら収穫を開始しましょう。

9月16日(出穂後36日)現在の状況

- ・粳水分は24.5%と25%を下回っています。出穂期～測定前日までの積算気温は1024℃と収穫適期の目安に達しています。
 - ・玄米は登熟が進んでおり、青死米が混在している一方、活青米はほとんど見られません。
 - ・速やかに収穫作業を行いましょう。降雨後は、粳や茎葉が乾いてから収穫作業を実施し、倒伏や登熟ムラの大きい箇所は刈り分けを行いましょう。
- * 情報提供は今回で終了します。

粳水分測定結果(玉井試験場内ほ場)

移植期・品種	出穂期		測定日			
			9月4日	9月8日	9月11日	9月16日
5月20日植 彩のかがやき	8月11日	出穂後日数(日)	24	28	31	36
		出穂期～測定前日までの積算気温(℃)	699	806	893	1024
		粳水分(%)	31.2	28.1	26.6	24.5
		帯緑粳割合(%)	84	67	43	14

*(参考) 早植栽培「彩のかがやき」の収穫適期の目安
登熟積算気温910～1110℃、帯緑粳割合 穂の下部、3割程度に青みが残っている頃



○5月20日植「彩のかがやき」、出穂後36日(9月16日)の玄米(篩目1.8mm)